

大平議員、「綱領と党の役割」を語り、8人が入党

広島県委員会「綱領を語り、日本の未来を語るつどい」に110人



11月6日、広島県委員会は大平喜信衆議院議員を講師にして「日本共産党綱領を語り、日本の未来を語るつどい」を開催、110人が参加しました。

大平議員は、日本共産党の綱領の原文そのものを読み上げながら、安倍政権の下でいま国民生活がどんなにふみにじられているかを紹介するとともに、国民の暮らし第一の改革をみんなで力をあわせて実現しようとよびかけました。(写真)

「つどい」には、支部や党員のつながりを通じて誘い合った方が参加しており、その中で5人の方が入党の決意を固めてくれました。

また、大平議員は、6日の午前中にも東広島市で3人の入党者を迎えています。

大平議員は、6日一日で、30代から80代まで合計8人の方を迎え入れ、「大運動」に入って10人の方を党に迎えています。

鳥取県中部地震・日本共産党、被災地で献身的に奮闘

家屋の一部損壊への支援など支援制度も動く

10月21日に起きた鳥取県中部地震から2週間余り経過しました。余震が続く中、現地の日本共産党組織は、被災者の生活支援に献身的に奮闘しています。

鳥取県の県・地区委員会と地方議員は、被災者に寄り添う活動を続けるとともに、被災者の要望をまとめて県や市・町への要請行動を繰り返し行っており、そうした中で一部損壊住宅への支援制度安などが創設されてきました。(写真)

また、義援金も日本共産党へ11月5日現在で574,670円が寄せられており、県委員会は被災1市3町に計50万円を届けています。



基地問題学習会に70人。戦争する国づくり許さずの決意

11月2日に岩国で開催された「岩国基地調査・基地問題学習会」には70人が参加。中国地方における米軍・自衛隊一体となった戦争する国づくりの実態と闘いの展望を学びました。学習会のDVDは今週中に各県委員会に送りますので、ご活用ください。

＜11月20日午後2時～3時、岩国基地へのF35配備反対集会。岩国市役所前＞